



本校の授業改善に向けた視点					
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	幼小保・小中一貫教育の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・体験的・問題解決的な学習の重視。 ・算数における担任と学力向上支援講師との習熟度別指導（全学年）による授業のさらなる充実。 ・算数ベーシックドリルの活用。 ・課題改善カリキュラムの活用による授業改善。 ・学力調査の結果を分析し、その分析結果を基に、今後の指導に生かしていくようにする。 ・ICT教育の活用と検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科での学習と関連付けた学校農園やピオトープ、地域の施設等の有効活用。 ・異学年交流の充実。 ・生活習慣や運動習慣の見直しと体育的な活動や体育授業の充実。 ・朝読書や読書旬間、教員による読み聞かせなど、読書活動の推進。 ・教科等横断的なカリキュラムの実践。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研究では、「学びのつながりに気づき、生かそうとする児童の育成～教科等横断的な視点に立ったカリキュラムの創造・実践を通して～」を研究テーマに、講師の指導を受けながらの指導法の工夫。 ・若手教員研修プログラムを作成し、教務主任、研究主任、OJT担当主任を中心とした研修を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の自己評価（ポートフォリオなどの導入）や相互評価を積極的に取り入れ、児童の学習意欲の向上および授業改善に活用。 ・学校公開の保護者の感想や学校評議委員会の意見などの外部評価を授業改善に活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を講じた様々な方法での学校公開を実施。 ・道徳授業地区公開講座の実施。 ・地域の人材を外部講師として活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同地区の小学校、中学校と連携を図り、授業参観・研究会参加を計画、実施。 ・地区中学校への入学予定者の学習面、生活面のヒアリングの実施。 ・地域の幼稚園、保育園と連携を図り、1・2年生と共に授業を実施。